

令和 4 年度  
事業報告書

社会福祉法人たちばな会

指定障害福祉サービス事業所たちばな授産所

指定障害福祉サービス事業所サンステップ

指定障害福祉サービス事業所すだち

# 目 次

I. 社会福祉法人たちばな会事業報告	3
1. 評議員会	3
2. 理事会	3
3. 監事監査	4
4. 事業	4
5. 社会福祉充実事業	4
II. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所たちばな授産所 事業報告	5
1. 概況	5
2. 生活支援	5
3. 作業活動	7
4. 体育実施状況	10
5. 保健衛生	11
6. 交通安全指導	13
7. 災害防止対策	14
8. 家庭との連携	15
9. 地域交流	15
10. 各種会議	16
11. 職員研修	16
12. 利用者の状況	17
III. 指定障害福祉サービス（多機能型）事業所サンステップ 事業報告	20
1. 概況	20
2. 生活支援	20
3. 作業活動	22
4. 体育実施状況	25
5. 保健衛生指導	25
6. 交通安全指導	27
7. 災害防止対策	28
8. 家庭との連携	28
9. 地域交流	29
10. 各種会議	30
11. 職員研修	31
12. 利用者の状況	32
13. 就労移行支援実施状況	34
IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち事業報告	35
1. 共同生活住居「いぶき」	35
2. 共同生活住居「すだち」	36
V. 社会福祉法人たちばな会事業報告の附属明細書	37

## I. 社会福祉法人たちばな会 事業報告

社会福祉法人たちばな会定款に基づき、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ地域における自立した日常生活を営むことができるよう、多様かつ適正な障害福祉サービスの提供に努めた。

### 1. 評議員会

(1) 定時：令和4年6月23日（木） 於：サンステップ地域交流スペース

#### ア 決議事項

- 第1号議案 令和3年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について（含、監事監査報告）
- 第2号議案 社会福祉充実計画（案）について
- 第3号議案 社会福祉法人たちばな会の補欠監事の選任（案）について

#### イ 報告事項

- ・令和3年度の事業報告について
- ・理事長専決事項報告について
- ・役員賠償責任保険への加入について
- ・その他：共同生活住居すだちの施設整備の進捗状況について他

### 2. 理事会

(1) 第1回（定例）令和4年6月2日（木） 於：サンステップ地域交流スペース

#### ア 決議事項

- 第1号議案 令和3年度社会福祉法人たちばな会事業報告（案）について
- 第2号議案 令和3年度社会福祉法人たちばな会決算報告（案）について（含、監事監査報告）
- 第3号議案 社会福祉充実計画（案）について
- 第4号議案 令和4年度定時評議員会の開催について
- 第5号議案 社会福祉法人たちばな会 補欠監事候補者の選任（案）について
- 第6号議案 グループホームすだちの建設業者の指名について

#### イ 報告事項

- ・理事長専決事項報告について
- ・その他：共同生活住居すだちの施設整備の進捗状況について他

(2) 第2回（定例）令和4年11月11日（金） 於：サンステップ地域交流スペース

#### ア 決議事項

- 第1号議案 令和4年度事業中間報告（案）について
- 第2号議案 令和4年度会計中間報告（案）について
- 第3号議案 令和4年度会計第1次補正収支予算（案）について
- 第4号議案 社会福祉法人たちばな会共同生活住居すだちの建設資金の借入れについて
- 第5号議案 社会福祉法人たちばな会有期雇用職員就業規程の一部改正（案）について

#### イ 報告事項

- ・社会福祉法人たちばな会共同生活住居すだち建設工事の入札の結果について
- ・理事長専決事項報告について
- ・共同生活住居すだちの施設整備の進捗状況について

(3) 第3回（定例）令和5年3月22日（水） 於：サンステップ地域交流スペース

#### ア 決議事項

- 第1号議案 令和4年度事業中間報告（案）について
- 第2号議案 令和4年度会計中間報告（案）について
- 第3号議案 令和4年度会計第2次補正収支予算（案）について
- 第4号議案 社会福祉法人たちばな会共同生活援助すだち運営規程の一部改正（案）について

- 第5号議案 社会福祉法人たちばな会職員給与規程の一部改正（案）について
- 第6号議案 社会福祉法人たちばな会各事業所の積立金の取崩（案）について
- 第7号議案 役員賠償責任保険（案）の加入について
- 第8号議案 令和5年度事業計画（案）について
- 第9号議案 令和5年度当初予算（案）について

イ 報告事項

- ・理事長専決事項報告について
- ・その他：共同生活住居すだちの施設整備の進捗状況について

(4) 社会福祉法第45条の14第9項による「みなし決議」

ア 決議があったものとみなされた日：令和5年1月10日

決議事項

- 第1号議案 社会福祉法人たちばな会経理規程の一部改正について
- 第2号議案 社会福祉法人たちばな会サンステップ 運営規程の一部改正の件

3. 監事監査

(1) 決算監査 令和4年5月26日（木） 於：サンステップ地域交流スペース

ア 監査内容 令和3年度の理事の業務執行状況及び法人の財政状況について

4. 事業

第二種社会福祉事業

- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）たちばな授産所の運営
- ・指定障害福祉サービス事業所（多機能型）サンステップの運営
- ・指定障害福祉サービス事業所すだちの運営  
共同生活住居「いぶき」、共同生活住居「すだち」

5. 社会福祉充実事業

ア 建設後30年以上経過した共同生活住居すだちの建替え

## II. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所たちばな授産所 事業報告

### 1. 概況

多機能型事業所として生活介護事業及び就労継続支援B型事業を実施した。

各事業の利用状況は、年度初めには生活介護(定員20名)の利用者22名、就労継続支援B型(定員20名)の利用者20名が在籍していたが、生活介護では、入所施設を利用するために1人が退所、入所施設から当施設に通っていた内の1名が新型コロナに罹り入院中に亡くなる等で、年度末の利用者は20名になった。就労継続支援B型では利用者の動きはなく20名が利用している。

利用状況については、3年目に入った新型コロナウイルス感染症は新株の出現により流行が更に拡大したので、クラスター発生という事態は避けるために、油断することなく毎朝の検温や手指の消毒、マスクの着用等基本的な予防対策を継続したが、7月以降に、感染や濃厚接触、あるいは予防のために自己判断で欠席する利用者が数名いたり、交通事故による治療入院のために欠席する利用者がいたりして、両事業とも例年より出席率は低下した。計画していた行事については、昨年同様、コロナ予防のための3密の回避ということで、規模を縮小したり中止になったりしたので、利用者にはストレスのたまる一年だったのではないかと思われる。

生産活動状況は、引き続き、農機・建機用電装部品の組立、段ボールの組立、優先調達法による草刈り作業をメインにしている。農機・建機用電装部品の組立については、ここ数年の最低賃金の上昇にもかかわらず単価の見直しがなく、職員のモチベーションも上がらないことから、一部の作業を返上し、その代わりとして、別企業から給湯器の部品組立を取り入れ、収入の改善を図った。同時に、段ボールの組立、草刈り作業の受注増も図った結果、農機・建機用電装部品の組立は3,954,514円(前年度比23.18%減)と大幅に落ち込んだが、給湯器の部品組立が1,701,957円と寄与し、段ボールの組立は4,677,380円(前年度比51.66%増)、優先調達法による除草作業も11,287,718円(前年度比17.52%増)とそれぞれ大幅に伸びた。これに、農機・建機用電装部品以外の組立や物品販売、印刷を含むその他について2,025,280円(前年度比30.99%減)を加えて生産活動収入合計は25,435,365円(前年度比24.2%増)となった。ここから必要経費を差し引いた後、利用者には、賞与を含む工賃として、生活介護で一人平均月額13,782円、就労継続支援B型で一人平均月額30,646円を支給した。

### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

#### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の水曜日に行い、月毎に、司会、出席、衛生、ごみ、黒板、所旗、戸締まり、花壇の水やり、炊事、トイレのスリッパを揃える、誕生会のプレゼント、お祝いの言葉等の各係について、利用者の希望をとって分担を決め、積極的に取り組んだ。また、行事等の希望や参加について意見交換をした。令和4年度も継続して新型コロナウイルス感染症予防への対策確認を随時行った。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動についての話し合い
5	係活動の反省と行事の内容確認
6	係活動の反省と行事の内容確認
7	係活動の反省と行事の内容確認
8	係活動の反省と行事の内容確認

9	係活動の反省と行事の内容確認
10	係活動の反省と行事の内容確認
11	係活動の反省と行事の内容確認
12	係活動の反省と行事の内容確認
1	係活動の反省と行事の内容確認
2	係活動の反省と行事の内容確認
3	一年間の反省と来年度の所生会についての話し合い

(2) 実施行事

新型コロナウイルスの影響があり行事が大きく制限されたが、感染予防に努めながら利用者のレクリエーションを中心に実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし、社会性の向上に努めるとともにストレスの解消にあたった。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月4日	開所記念式	たちばな授産所	利用者 41人	理事長の祝辞、前年度皆勤・精勤者の表彰をした。
4月28日	ハイキング	愛知県民の森	利用者 37人	愛知県民の森でハイキングを実施し、新緑を楽しむ。
5月7日	レクリエーション講座① 所内レクリエーション	たちばな授産所	利用者 37人	障害物競走を楽しみ、焼きそばとお好み焼きを食べた。
6月23日	レクリエーション講座② 所内運動会	浜北総合体育館	利用者 40人	浜北総合体育館にて所内運動会を開催した。
7月7日	七夕会	たちばな授産所	利用者 38人	願い事を書いた短冊や七夕飾りを笹につけて飾った。スイカを食した。
7月23日	納涼祭	たちばな授産所	利用者 38人	利用者と職員で盆踊り、カラオケ、ゲーム、模擬店を複数実施した。
9月1日	総合防災訓練	たちばな授産所	利用者 38人	警戒宣言発令を想定し、連絡網による情報伝達訓練を実施した。
10月21日	日帰り旅行	豊川稲荷	利用者 39人	豊川稲荷で御祈祷と精進料理を頂き、八雲団子で買い物を楽しんだ。
11月4日	レクリエーション講座③ 紅葉狩り	鞍ヶ池公園	利用者 36人	豊田市の鞍ヶ池公園で、庭園散策を行った。
11月25日	レクリエーション講座④ 球技大会	やまびこホール	利用者 37人	はまきた森林公園内の山彦ホールにて、ボールを使った競技を行った。
12月2日	地域奉仕作業	たちばな授産所 近辺	利用者 34人	障害者週間に合わせて、施設周辺の環境整備を行った。
12月16日	お餅を食べる会	たちばな授産所	利用者 38人	コロナ禍で恒例の餅つき大会を中止し、利用者と職員でお餅と豚汁を食した。
12月23日	クリスマス会	たちばな授産所	利用者 36人	クリスマスに因んだ工作や手作りの昼食を食べて楽しい時間を過ごした。
12月28日	慰労会	たちばな授産所	利用者 36人	1年間の労をねぎらい、来年の干支である兎の置物を作り、絵馬に願い事を書いた後に昼食を摂った。
1月5日	新年会	たちばな授産所	利用者 36人	仕事始めの式 昼食に自分で選んだ仕出し弁当を食べた。
1月8日	レクリエーション講座⑤ 習字	たちばな授産所	利用者 34人	理事長と所長の指導のもと、自分で選んだ言葉の書初めを行った。
1月9日	20歳を祝う会	たちばな授産所	利用者 38人	20歳を迎えた利用者2名のお祝いをした。

1月11日	鏡開き	たちばな授産所	利用者 34人	お汁粉を食べた。
2月3日	豆まき(節分)	たちばな授産所	利用者 36人	簡単なゲームを行った後、年男・年女の利用者に豆まきをしてもらい、一年の邪気払いと無病息災を祈った。
2月24日	レクリエーション講座⑥ 表現の会	たちばな授産所	利用者 39人	施設内にてダンスの発表会を行った。また、後日にその内容を保護者向けにインターネット配信を行った。
3月4日	イチゴを食べる会	たちばな授産所	利用者 38人	コロナ禍の為、イチゴ狩りを取りやめて所内でいちごパフェを作って食べた。
3月24日	レクリエーション講座⑦ お花見	たちばな授産所	利用者 39人	道の駅KADODE OOIGAWAD 買い物と昼食を摂り、大井川に掛かる蓬莱橋を散策して、早めの桜を鑑賞した。

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を生活介護、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも品質の向上と納期の厳守を基本とし、取引業者との信頼関係の強化に努めた。また、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ、各事業の利用者の特性を活かせるよう作業分担に配慮した。

生活介護班では、利用者を各自の特性や相性を考えて作業室、作業場所を配置することで、利用者が落ち着いて過ごせるように配慮した。また、創作活動や軽運動等の余暇支援を取り入れ、メリハリの利いた日常生活を送れるように支援した。

就労継続支援B型班は、福祉的就労の場として生活指導、作業指導に取り組み、生活習慣の確立を目指した。従来の農機・建機用電装部品の組立の生産量が減ったため、新たに給湯器の組立を取り入れた。この給湯器の組立は組立単価も高く、まとまった数量も見込めるために長期に渡って安定した売上が見込めそうである。また、障害者優先調達推進法による除草作業については、年間2～3件の新規受注により順調に売上が拡大し、令和4年度は1,000万円を超える結果となったが、徐々に人員面での作業能力の限界が近づいてきているため、今後の方針を検討する時期に差し掛かりつつある。なお、従来の農機・建機用電装部品の組立については、作業単価が低いことと月間売上10万円にも満たない製品が多数を占めることによる生産効率の低下から、今後も売上は良くて横ばい、もしくは低下していく可能性が高い。そのため、組立種目の取捨選択を視野に入れつつ、新規取引先の開拓を目指したい。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質の確保と業者との連絡のために、担当する職員・利用者で作業班体制を組んだが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大や半導体不足等の社会情勢により、作業種目によっては作業量が極端に少なくなり、それぞれの班に固定することはできなかつたので臨機の対応をした。優先調達推進法による除草作業や段ボールの組立作業は班の枠を超えた取り組みを行った。

#### ア、生活介護

生産高(単位:円)

班	利用者数	作業種目	月平均
E	20	就労継続B型の前工程(ターミナル入れ他)	80,774
F		段ボールの組立、パッキン入れ	449,313
G		紙すき、トイレトペーパーの販売他	96,836

#### イ、就労継続支援B

生産高(単位:円)

班	利用者数	作業種目	月平均
A		自動車エアコンスイッチ組立他	35,495

B	20	オイルゲージ組立、農機具シーソースイッチ組立他	53,667
C		自動車ルームランプ組立、給湯器の部品組立他	204,569
D		汎用スイッチの組立他	138,791
ABCD	5	除草作業、印刷他	1,102,092

(2) 生産活動業者別収入状況

ア、生活介護

(単位：円)

月	日本ロック	ジェイレックス	みずの加工 コーポレーション雅	紙すき	トイレトペーパー	合 計
4	88,177	381,707	86,435	5,340	60,360	622,019
5	70,312	457,144	66,485	0	73,610	667,551
6	103,743	529,014	61,210	800	69,120	763,887
7	81,028	343,482	64,750	2,300	32,880	524,440
8	85,930	280,386	58,750	2,200	47,940	475,206
9	75,552	392,821	49,750	2,500	61,040	581,663
10	98,158	342,945	48,250	31,850	220,020	741,223
11	75,531	424,156	43,125	6,300	21,420	570,532
12	68,512	342,060	47,000	4,600	144,240	606,412
1	64,196	328,523	58,625	1,200	268,430	720,974
2	86,335	435,496	56,000	1,000	47,040	625,871
3	71,812	419,646	74,000	1,300	56,540	623,298
合計	969,286	4,677,380	714,380	59,390	1,102,640	7,523,076

イ、就労継続支援B

(単位：円)

月	日本ロック	除草作業	山宗 他1社	印刷等	合 計
4	266,460	96,800		7,260	370,520
5	317,152	96,818		755,062	1,169,032
6	423,273	0		0	423,273
7	327,816	274,780		6,270	608,866
8	301,856	388,960	97,090	64,185	852,091
9	419,586	1,035,643	141,064	646,492	2,242,785
10	299,277	1,364,202	145,728	21,285	1,830,492
11	327,714	357,897	318,208	35,247	1,039,066
12	205,562	6,666,080	290,400	198,263	7,360,305
1	220,687	998,778	174,108	17,462	1,411,035
2	161,392	0	267,839	171,490	600,721
3	-285,547	7,260	267,520	14,870	4,103
合計	2,985,228	11,287,218	1,701,957	1,937,886	17,912,289

※ 日本ロックの3月分の収入がマイナスになっているのは、異物混入による不良発生の責任を問われ503,064円の賠償金を支払ったため。



## (3) 月別作業収入と工賃支給状況

## ア. 生活介護

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	延べ 作業時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	622,019	220,000	12,020	7,240	10,000	21	77.7
	5	667,551	220,000	11,850	7,660	10,000	20	72.7
	6	763,887	210,000	11,830	7,040	10,000	22	81.2
	7	524,440	210,000	12,140	7,100	10,000	22	84.3
	8	475,206	210,000	11,920	7,560	10,000	20	76.8
	9	581,663	210,000	12,230	7,420	10,000	22	76.4
	10	741,223	220,000	12,970	8,180	11,000	21	79.5
	11	570,532	260,000	15,280	9,090	13,000	22	80.8
	12	606,412	260,000	15,230	8,600	13,000	20	74.3
	1	720,974	240,000	14,440	8,750	12,000	20	70.0
	2	625,871	240,000	14,050	8,800	12,000	20	77.3
	3	623,298	240,000	14,010	8,610	12,000	23	87.3
	小計	7,523,076	2,740,000			133,000	253	938.3
	8		賞与 210,000	18,800	5,300	10,000		
	12		賞与 200,000	12,900	6,700	10,000		
	3		一時金 247,600	17,000	9,000	12,380		
	小計		657,600			32,380		
合 計	7,523,076	3,397,600			165,380	253	938.3	

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は165,380円、月額割では平均約13,782円。

## イ. 就労継続支援B型

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	延べ 作業時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	370,520	400,000	26,050	12,240	20,000	21	92.3
	5	1,169,032	400,000	25,330	12,810	20,000	20	90.2
	6	423,273	460,000	30,440	14,590	23,000	22	95.3
	7	608,866	500,000	34,200	14,880	25,000	22	97.6
	8	852,091	499,990	34,330	15,070	25,000	20	92.8
	9	2,242,785	500,000	33,780	15,26	25,000	22	101.1
	10	1,830,492	560,000	39,260	15,790	28,000	21	95.3
	11	1,039,066	600,000	42,470	17,180	30,000	22	95.0
	12	7,360,305	600,000	44,640	15,560	30,000	20	80.4
	1	1,411,035	659,990	47,720	18,090	33,000	20	83.5
	2	600,721	600,000	42,690	16,670	30,000	20	90.6
	3	4,103	400,000	27,090	11,460	20,000	23	101.5
	小計	17,912,289	6,179,980			309,000	253	1115.6
	8		賞与 200,000	14,400	3,300	10,000		
	12		賞与 200,000	14,900	3,100	10,000		
	3		一時金 775,000	60,600	12,400	38,750		
	小計		1,175,000			58,750		
合 計	17,912,289	7,354,980			367,750	253	1115.6	

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額367,750円、月額割では平均30,646円。

## (4) 就労支援会計収支状況

(単位：円)

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 就労支援事業収入	25,435,365	1. 利用者工賃等配分額	10,752,580
(1) 受託収入	11,048,231	(1) 利用者工賃	8,919,980
(2) 印刷収入	546,947	(2) 利用者賞与	1,832,600
(3) 紙すき収入	59,390	(3) 実習生分配金	
(4) 施設外就労事業収入	11,287,218	2. 必要経費	14,987,052
(5) 製品販売事業	2,493,579	3. 積立金積立	
2. 助成金	305,280	4. 次年度繰越金	1,013
合 計	25,740,645	合 計	25,740,645

## (5) 配分率、経費率及び繰越率

(単位：円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経費率
25,740,645	10,752,580	14,987,052	1,013	41.8%	58.2%

## 4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持と強化のために朝礼終了時の体操や、作業間のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ）を実施した。

## (1) 体力作りとストレッチ

項 目	日 時	内 容
ラジオ体操	8:40 ~ 8:45 (毎朝)	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で行った。
ストレッチ (業間体操)	10:25~10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で作業の間に肩こり、腰痛対策の一環としてストレッチを実施した。
体 操	14:30~15:15 (生) 15:15~15:45 (B) (月~金)	生活介護の利用者と継続支援B型の利用者に分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくり（ジョギングや歩行訓練）を実施した。また、雨天時は訓練棟でストレッチやリズムダンスを行った。

## (2) 体育的行事

項 目	日 時	内 容
野外スポーツ	13:00~15:30	6.9.11.1月の4回は県立浜北森林公園で体力別に3班に分けウォーキングや散策を行い、雨天等で森林公園の利用が出来なかった5月はやまびこホールでボールを使った運動を4.7.3月は所内レクを実施した。2月は花粉症の時期と重なり中止した。

### (3) 生活介護支援

項目	日時	内容
スペースタイム	15:15～15:45 (月～金)	生活介護事業では、ジグソーパズル・壁紙制作などを行い、利用者の心身の安定を図るための時間として実施した。

## 5. 保健衛生

### (1) 健康管理

新型コロナウイルスの感染防止の為、登所前の検温・記録を習慣化し、登所後は手指の消毒や手洗いを頻繁に行うとともに健康状態の変化を見逃さないように努めた。毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後の歯磨き、作業後のうがい・手洗い、マスクの着用と手指の消毒を毎日の習慣とした。新型コロナウイルスに感染、又は濃厚接触者の疑いが出た時は状況に応じて抗原検査を随時実施した。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線を実施し、嘱託医による内科検診を年3回行った。歯の健康センターによる歯科健康診査を実施。保護者には健診結果を通知し、異常のあった利用者には、掛かりつけの医師による再診を助言した。

看護師による[ナース便り]の発行により利用者・保護者へ健康管理や感染症予防等の啓発に努めた。

#### ア、健康診断実施状況

区分	実施日	人数	内容
血液検査	4月8日	40	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月8日	41	蛋白、糖、潜血
X線検査	9月5日	45	胸部X線間接撮影
嘱託医による内科検診	4月20日	41	問診、聴打診、血圧
	8月24日	37	
	12月14日	36	
歯科健診	10月20日	36	

#### イ、健康診断結果

(※重複あり、単位：人)

区分	男	女	計
血液一般	8	1	9
糖代謝	6	3	9
肝機能検査	8	5	13
脂質代謝	2	1	3
腎機能	7	1	8
尿定性検査	1	2	3
計	32	13	45

### (2) 衛生指導

利用者、職員全員で、毎日終業前の15分間で所内全般の清掃を実施し、衛生的な環境保持に努めた。又、作業後やトイレ使用後及び給食前に手洗い、手指の消毒、マスクの着用を励行し毎日の習慣とするよう心掛けた。朝は作業室を中心に昼食後は食堂を主に消毒を行い、同時に室内の換気に努めた。

### (3) 感染症予防

#### ア、新型コロナウイルス対策とインフルエンザ対策の実施

令和4年度も新型コロナウイルスの流行が終息せず、検温と体調のチェック、手洗いと手指の消毒の実施、マスク（不織布）着用の呼びかけを行い、食堂のテーブルにはアクリル板

を設置し、換気を徹底し3密にならないように予防対策を取って対応した。共有に接する場所(作業室・更衣室・食堂等)の消毒を徹底した。11月にインフルエンザ対策として、希望する利用者はインフルエンザの予防接種を行った。

(4) ナース便りの発行

発行日	内 容
令和4年5月18日	中性脂肪について
6月17日	カビが人体に与える影響
8月12日	熱中症対策の飲み物について
9月2日	秋の健康診断について
9月23日	歯科健診事前アンケート
10月28日	歯周病検診を受けることの大切さについて
11月17日	体の冷えと温活について
12月23日	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行への備えについて
令和5年1月20日	低温やけどについて
2月17日	睡眠も質を下げてしまう！？誤った寒さ対策&改善法
3月17日	花粉症対策について

(5) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データを取りながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

ア、月別出欠状況

【生活介護】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	22	21	462	25	437	94.59
5	22	20	440	32	408	92.73
6	22	22	484	43	441	91.12
7	22	22	484	42	442	91.32
8	22	20	440	53	387	87.95
9	21	22	462	38	424	81.77
10	21	21	441	37	404	91.61
11	21	22	462	47	415	89.83
12	20	20	400	27	373	93.25
1	20	20	400	41	359	89.75
2	20	20	400	21	379	94.75
3	20	23	460	13	447	97.17
計	253	253	5335	419	4916	92.15

※ 6、7、8月と10、11月に全休した利用者があり、また、9月と1月をはじめ、新型コロナの感染者、濃厚接触者、感染予防での欠席があり例年より出席率が低い。

【就労継続支援B型】

(単位:日、%)

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延べ日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	20	21	420	8	412	98.10
5	20	20	400	4	396	99.00
6	20	22	440	9	431	97.95
7	20	22	440	20	420	95.45
8	20	20	400	18	382	95.50
9	20	22	440	15	425	96.59

10	20	21	420	12	408	97.14
11	20	22	440	22	418	95.00
12	20	20	400	33	367	91.75
1	20	20	400	25	375	93.75
2	20	20	400	15	385	96.25
3	20	20	460	12	448	97.39
計	240	253	5060	193	4867	96.10

※ 7月から新型コロナ感染や、濃厚接触者での欠席者が相次ぎ、また、交通事故や骨折での欠席者もあり、例年より出席率が低い。

#### イ、月別皆勤者の状況

年間を通じての皆勤者は男子3名、精勤者は（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）男2名、女1名の計6人であった。（新型コロナウイルスワクチン接種での遅刻早退は配慮した。）

#### 【生活介護】

（単位：人、％）

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	22	14	63.64	10	21	14	66.67
5	22	10	45.45	11	21	12	57.14
6	22	11	50.00	12	20	12	60.00
7	22	14	63.64	1	20	8	40.00
8	22	9	40.01	2	20	11	55.00
9	21	10	47.62	3	20	14	70.00
				延べ人数	253	Av. 11.6	

#### 【就労継続支援B】

（単位：人、％）

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率
4	20	13	65.00	10	20	15	75.00
5	20	17	85.00	11	20	13	65.00
6	20	16	80.00	12	20	13	65.00
7	20	11	55.00	1	20	13	65.00
8	20	13	65.00	2	20	15	75.00
9	20	13	65.00	3	20	16	80.00
				延べ人数	240	Av. 14	

#### 6. 交通安全指導

年間2回の実施をすべて外部機関への依頼によって実施した。どの交通安全教室も昨年度も実施したものであったが、各回とも年間で複数回実施している実績ある交通安全教室なので、利用者に対して質の高い指導を提供できた。

実施日	指導者	内容
8月10日	おうちコープ	夏季休暇前におうちコープによる交通安全教室を開催。スライド等を使用して、夏季休暇中の交通事故防止に努めた。
12月27日	交通安全指導員 警察官	年末年始の休暇を迎えるにあたり、交通安全協会浜北地区支部の交通安全指導員より、交通ルールに関する指導を受けることにより、利用者の事故防止の意識を高め、休暇中の交通安全に努めた。

## 7. 災害防止対策

火災と地震の訓練を主に、8月には大雨や洪水等非常災害の発生を想定した防災訓練を実施した。地域防災訓練は家族での参加を呼びかけて防災指導に努めた。また、日ごろから防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も随時実施した。月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

【防災訓練実施状況】

実施日	訓練種目	災害発生の想定及び対応					
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	留意点
4月20日	火災通報	利用者 0 職員 11 その他 0	17:00		利用者帰宅後、各職員の受け持ち部署より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び所長への報告、通報訓練を実施した 一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動、残留者確認の報告の仕方を確認した。		
5月6日	地震避難	利用者 40 職員 12 その他 0	14:00		作業時間中に地震発生	机や作業台の下に身を隠した。揺れが収まってから窓は開けたまま外へ避難。	落下物を意識して作業台等の下に身を伏せる。効果音が鳴っている間は動かない。
6月16日	火災避難	利用者 42 職員 11 その他 1	11:00		作業時間中に地震発生	机や作業台下に身を隠した。揺れが収まってから外へ避難した。	職員の指示に従って行動する。効果音が鳴っている間は動かない。点呼を確実に行う。
7月21日	大雨洪水伝達	利用者 40 職員 13 その他 40 (保護者)	15:00		浜松市から大雨による防災情報警戒レベル3(避難準備・高齢者等避難)が発令された	荷物をまとめて帰宅準備を行い食堂で待機。保護者会連絡網を使って迎えを要請した。事前に、5月20日に改正された避難勧告廃止のリーフレットを配布した。	保護者会連絡網の確認 緊急時の利用者、職員の行動確認
8月26日	火災伝達	職員 14人	19:00	授産所厨房	職員帰宅後、授産所厨房から数漏れによる出火。	帰宅後の火災に対して職員連絡網を使って伝達訓練を行った。	職員連絡網の確認と開所時間外の火災等に対する確認
8月30日	総合	職員 3 寮生 5 保護者 0	19:00	GHいぶき	地震後にガス漏れにより台所から出火	各部屋から避難し、世話人が消防への通報。関係職員を招集した。	避難経路の確認。職員連絡網の確認と消防への通報訓練実施
8月29日	総合	職員 3 寮生 2 保護者 0	19:00	GHすだち	地震後にガス漏れにより出火	各部屋から避難し、世話人が消防への通報。関係職員を招集した。	避難経路の確認。職員連絡網の確認と消防への通報実施
9月1日	総合防災訓練	利用者 38 職員 14 その他 38 (保護者)	8:50		予知情報のない突発的な大規模地震発生	保護者会連絡網を使って情報伝達訓練と引渡し訓練を実施した。避難時の三密の避け方等について話をし、防災食を食べた。	保護者連絡網の確認
10月26日	地震避難	利用者 39 職員 12 その他 0	10:10		作業開始直後に地震が発生	机や作業台の下に身を隠した。揺れが収まってから外へ避難した。	落下物に配慮して避難できたか 急な異変に対応できるか
11月3日	地震火災通報避難	利用者 39 職員 14 その他 0	10:20	厨房	作業時間中に地震が発生し、厨房より出火	安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待って落下物に注意し、非常口から避難。消火バケツを使って消火訓練と通報訓練実施	社会福祉施設防災訓練として実施 避難経路の確認
11月4日	総合	利用者 5 職員 3	19:00	いぶき	地震発生後に台所のガスコンロから出火	各部屋より避難。連絡網で職員を招集した。119番通報は世話人が行った 水消火器で消火訓練実施	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と招集時間の確認。水消火器を使った消火訓練実施
11月5日	総合	利用者 3 職員 3	19:00	すだち			
12月21日	火災避難消火	利用者 39 職員 13 その他 1	13:40	食堂	食堂のコンセントに埃が貯まり出火	火点を避け施設東側より避難する 抜き打ちで実施	避難経路の的確な指示を出す

1月23日	地震 避難	利用者 37 職員 14 その他 0	13:30		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。	人員点呼で返事をしっかりさせる。落下物を意識した避難行動をとる
2月14日	地震 避難	利用者 35 職員 14 その他 0	8:55		登所直後の時間帯での地震発生	落下物を避けて避難 頭部を保護する「だんごむし」の姿勢を取った。	きちんと頭部を守った避難姿勢がとれたか(ダンゴムシの姿勢)
3月24日	火災 避難	利用者 38 職員 13 その他 0	11:00	訓練棟南側	野火による延焼	火点から離れた非常口から避難する。	所内放送を聞いてからの避難開始

## 8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、保護者と相互に連絡を取り合っ利用者支援にあたるよう努めた。

項目	期間	内容
個別面談	随時	随時個別面談を実施し、状況に応じた相談に努めた。
モニタリング	生活介護 9,3月 就労継続B 9,3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を行い、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。
連絡帳	随時	連絡帳により、家庭との連携を密にするよう努めた。
授産所通信等	毎月1回 他随時	「授産所通信」を発行し、月の予定等を伝えた。行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会		4月の総会は書面表決を行い、5、11、1、3月に定例役員会を、4月に臨時役員会を実施した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア、絵手紙教室

「絵手紙の町浜松」を育てる会代表の太田浩一様を講師に招いて絵手紙教室を実施した。

月	回数	延べ人数	参加者(講師)	内容
4	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	こどもの日をかく
6	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	梅雨見舞いをあく
9	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	秋の花をかく、お月見をかく
1	1	2人	「絵手紙の町浜松」を育てる会	節分をかく

※講師は有償ボランティア

### (2) 実習生の受け入れ

実施期間	学校名	参加者	人数
6月13日～6月17日の5日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1人
10月17日～10月20日の4日間	県立浜北特別支援学校	高等部3年	1人
11月28日～11月30日の3日間	県立浜北特別支援学校	高等部1年	1人

### (3) 作業実習の受け入れ

浜松市立浜北北部中学校発達支援学級

月	回数	延べ人数	内容
7	3	6人	組み立て等

## (4) 作業体験実習等の受け入れ

実施期間	学校名	延べ人数	内容
10月14日	浜松市立天竜中学校発達支援学級	3人	組み立て等
11月21・22日	浜松市立笠井中学校発達支援学級	5人	組み立て等
11月24日	浜松市立八幡中学校発達支援学級	2人	組み立て等

## (5) 単位実習、職員研修等の受け入れ

## 社会福祉援助技術現場実習

実施期間	学校名	人数
7月7日～7月20日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1人
7月21日～8月5日	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1人

## 10. 各種会議

所内会議を実施した。

会議	実施(曜)日	会議	実施(曜)日
職員打ち合わせ会	毎朝	支援部会議	第四以外の水曜日
職員会議	第四水曜日	ケース会議	支援部会と同時開催

## 11. 職員研修等

以下の職員研修等に参加した。

研修日	研修名	場所	主	参加者
4月28日	県知協総会	Zoom	県知協	施設長
5月11日	市福祉協 児童・障害部会施設長会	浜松市	浜松市社会福祉施設協議会	施設長
5月27日	県知協 施設長・主任者合同会議	Zoom	県知協	支援員1
6月9日	県知協 第56回福祉大会	Zoom	県知協	施設長
6月14日	GH連絡会主催の権利擁護研修	Zoom	GH連絡協議会	支援員2
6月20日	浜北・天竜エリア連絡会全体会	Zoom	浜北・天竜エリア連絡会	サビ管1
6月27日	浜松市施設連絡協議会総会	Zoom	市施設協	施設長
6月29日	県セルフ協総会	Zoom	県セルフ協	施設長
8月23日	市社会福祉施設協議会 施設長会	Zoom	浜松市社会福祉施設協議会	施設長
9月6日	西部施設連絡会 施設長会	Zoom	西部地区施設連絡会	施設長
10月12日	権利擁護・支援研修	Zoom	県セルフ協	支援員1
10月17・18日	日本福祉協会 東海大会	豊橋市	東海地区福祉協会	支援員1
11月9日	福祉・介護施設管理者等を対象とした感染症対策講座	浜松市	静岡県	施設長
11月11日	県セルフ協研修	Zoom	県セルフ協	施設長
11月25日	関東セルフ協 研修大会	Zoom	関東セルフ協	施設長
12月20日	西施連 職員研修	浜松市	西施連	施設長



研修日	研修名	場所	主	参加者
12月21日	県セルフ協研修	Zoom	県セルフ協	施設長
1月20日	県セルフ協事業振興委員会	Zoom	県セルフ協	支援員1
1月24日	県知協施設長研修会	静岡市	県知協	施設長
2月2日	防災講演会	浜松市	市防災協会	支援員1
2月3日	西施連職員研修	浜松市	西施連	施設長 支援員1
2月13日	関東セルフ研修	Zoom	関東セルフ協	支援員1
2月21日	浜松市施設協研修	浜松市	市施設協	支援員1
3月1日	令和4年度 高齢者・障がい者虐待防止研修会	Zoom	静岡県	施設長 サビ管1
3月13日	西部施設連絡会 施設長会	浜松市	西施連	施設長
3月9日	浜北・天竜エリア連絡会全体会	Zoom	浜北・天竜エリア連絡会	サビ管1
3月14日	県知協総会	静岡市	県知協	サビ管1
3月15日	県セルフ協総会	静岡市	県セルフ協	施設長
3月16日	県社協研修	Zoom	県社協	施設長
3月23日	西部施設連絡会施設長会	Zoom	西部地区施設連絡会	施設長

## 12. 利用者の状況

### (1) 入退所状況 (R4/4.1～R5/3.31) (在籍人数は月末現在、単位:人)

区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
現員	男	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26
	女	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14
在籍	計	42	42	42	42	42	41	41	41	40	40	40	40

(注) 8月に女子1名、11月に男1名が退所、3月末日に男子1名が退所。

### (2) 利用者の年齢 令和5年3月31日現在、単位:人

年令	男	女	計
15～19歳	0	1	1
20～29歳	9	8	17
30～39歳	3	0	3
40～49歳	7	3	10
50歳以上	7	2	9
計	26	14	40

平均年齢 男 39.4歳 女 33.7歳 全体 37.7歳

## (3) 入所期間 (令和5年3月31日現在、単位:人)

期 間	男	女	計
1年未満	0	0	0
1年以上～3年未満	1	2	3
3年以上～5年未満	1	2	3
5年以上～7年未満	0	0	0
7年以上～9年未満	3	4	7
9年以上～11年未満	6	2	8
11年以上～13年未満	1	0	1
13年以上～15年未満	2	0	2
15年以上～17年未満	2	1	3
17年以上～19年未満	1	0	1
19年以上～21年未満	1	1	2
21年以上	8	2	10
計	26	14	40

平均入所期間 男 17.25年 女 16.24年 全体 16.9年

## (4) 入所直前の状況 (単位:人)

区 分	男	女	計
特別支援学校等	19	10	29
児童、成人施設	2	3	5
就労、家業の手伝い、在宅	5	1	6
計	26	14	40

(注) 就職経験者は、男4人 女1人 計5人である。

## (5) 通所方法 (単位:人)

区 分	通所バス	電 車	自転車	バス	徒 歩	自家用車	計
男	8	9	0	2	2	9	30
女	3	5	1	0	0	6	15
計	11	14	1	2	2	15	45

\*重複あり

(6) 手帳の所持  
ア 療育手帳

(単位:人)

区 分	A	B	なし	計
男	20	6	0	26
女	12	2	0	14
計	32	8	0	40

## イ 身体障害者手帳

(単位:人)

区 分	1級	2級	3級	4級	6級	計
男	0	1	2	0	1	4
女	0	0	2	1	0	3
計	0	1	4	1	1	7

## ウ 障害福祉サービス受給者証

(単位:人)

区 分	未判定	1	2	3	4	5	6	計
男	3	0	0	5	11	5	2	26
女	1	0	1	1	7	4	0	14
計	4	0	1	6	18	9	2	40

## (7)心身障害の併有状況

(単位:人)

区 分	男	女	計
四肢体幹機能に問題のある人	3	2	5
てんかん治療を受けている人	6	4	10
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	5	2	7
情緒不安定・その他特異な行動のある人	4	4	8
自閉症（自閉症 <sup>※</sup> ・トラウマ障害）の診断がある人	9	5	14
言語に問題のある人	23	13	36
視力に問題のある人	7	6	13
聴力に問題のある人	1	0	1
ダウン症	4	4	8
計	62	40	102

(注)重複障害を含む

### Ⅲ. 指定障害福祉サービス(多機能型)事業所サンステップ 事業報告

#### 1. 概況

多機能型事業所として就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業を実施した。

就労移行支援(定員6名)では、新規利用者はなく昨年度からの継続利用者が1名だった。運営面からも事業継続が困難な状況が続いていたため、事業の休止や廃止を浜松市に申し入れていたところ来年度の事業廃止が承認されたので、最後の利用者だからということで一般就労を目標に、本人、職員共に努力してもらった結果、年度末には無事就職を決めることができた。就労継続支援B型(定員34名)では、新規の利用者はなく、高齢による体力の低下や新型コロナウイルスに対する考えの違いが施設との間にあり3名が退所したので、現在33名が在籍している。新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者として欠席する者も単発ではいたが、幸いクラスタには至らず、利用者は概ね健康で、元気に施設の日課をこなした。しかし、行事については利用者が楽しみにしているからということで職員の工夫もあったが、昨年度に引き続き3密状態を避けるために規模が縮小されたり中止になったりして、我慢を強いられる一年だった。

生産活動状況については、前年同様、自動車・農機具関連の部品組立及びガスメーターの部品組立に取り組んだ。自動車・農機具関連の部品組立では部品調達の遅延や生産計画の見直しがあり、また、ガスメーターの部品組立では、製品の買い換え需要の減少などで、期待通りの成果を上げることができなかった。その結果、全体の作業収入は、自動車・農機具関連の部品組立の収入18,841,366円(前年度比3.68%減)、ガスメーターの部品組立収入1,295,595円(前年度比9.98%減)、販促商品24,121円、物品販売等453,270円の合計20,614,352円(前年度比3.75%減)となり、必要経費を差し引いた結果、就労継続支援B型では一人月額平均30,947円(前年度比2.06%減)の工賃を支給した。

今後の課題としては、就労移行支援事業の廃止に伴い就労継続B型事業の6名の定員増に対し、どのような作業を取り入れていけば、工賃額を減らさないようにすることができるか、職員の確保とも併せて検討していきたい。

#### 2. 生活支援

作業班を中心として担当制を設け、担当による利用者に対する個別相談や日常生活支援を実施した。所生会活動を通して自主性と協調性を培い、各種の行事を通して集団生活のルールを学び、社会適応能力を高めた。

##### (1) 所生会活動

所生会は毎月末の木曜日に行い、月毎に、司会・出席・衛生・ごみ・戸締まり・花壇の水やり・炊事・トイレのスリッパを揃える係等、また誕生会のプレゼント・お祝いの言葉等の係について、利用者の希望をとって分担を決め、自主的、積極的に自分の係に取り組んだ。

月	活 動 内 容
4	今年度の所生会活動(係活動の役割、誕生会)について話し合った。
5	係活動の反省と行事の内容について確認した。
6	係活動の反省と行事の内容について確認した。
7	係活動の反省と行事の内容について確認した。
8	係活動の反省と行事の内容について確認した。
9	係活動の反省と行事の内容について確認した。
10	係活動の反省と行事の内容について確認した。
11	係活動の反省と行事の内容について確認した。
12	係活動の反省と行事の内容について確認した。

1	係活動の反省と行事の内容について確認した。
2	係活動の反省と行事の内容について確認した。
3	一年間の反省と来年度の所生会、誕生会用プレゼントについて話し合った。

## (2) 実施行事

次のとおり、利用者のレクリエーションを中心に行事を実施した。各行事に参加することにより、楽しみながら生活体験を豊かにし社会性の向上に努めた。また、今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、行事の中止もあったが出来るだけ開催するよう努力した。

実施日	行事	場所	参加者	内容
4月4日	開所記念式	当施設	利用者 37名	二橋 寛理事長を迎え、新しい職員の紹介、令和3年度の皆勤・精勤賞の表彰を行った。
5月2日	ハイキング	浜名湖 ガーデンパーク	利用者 34名	浜名湖ガーデンパークをグループごとにハイキングを行った。感染症対策のため、お土産等の購入は控えた。
6月	浜北合同 スポーツ交流会			新型コロナウイルス感染症のため中止。
7月23日	ぶち納涼祭	当施設	利用者 32名	感染症対策を行い、レクリエーションやゲーム(魚釣り、お面作りなど)を楽しみ。食事は個別に分けるよう配慮し提供した。
9月2日	総合防災訓練	当施設	利用者 33名	南海トラフ地震を想定し、地震と火災による防災訓練を行い、防災教育として地震災害の動画を視聴した。また、防災食の試食を行った。
10月14日	日帰り旅行	焼津方面	利用者 31名	感染症対策を行い、ディスカバリー焼津ではプラネタリウムを鑑賞し、焼津さかなセンターでは食事とお土産を購入し久しぶりの旅行を楽しんだ。
12月5日	地域防災訓練	各地域	利用者 4名	各地域で行われる防災訓練に保護者と一緒に参加するよう要請した。
12月9日	地域奉仕作業	当施設周辺	利用者 30名	金原用水沿いの草刈りと施設敷地周辺等の除草・清掃作業を行った。
12月16日	季節を感じる(冬)	当施設	利用者 29名	感染症対策を行い、あんころ餅・黄粉餅・豚汁を利用者へ提供し会食した。
12月16日	大掃除	当施設	利用者 29名	施設内の美化のため、作業室(3部屋)や食堂、地域交流スペースのワックス掛けを行った。
12月23日	クリスマス会	当施設	利用者 29名	クリスマスの製作を行い、おやつは各自でスコップケーキを作り楽しんだ。
12月28日	慰労会	当施設	利用者 31名	岩水寺へお礼参り後、自分のロッカーなどの掃除を行った。昼食はオードブルを各自プレートに分けて提供し1年の労をねぎらった。
1月5日	新年会	当施設	利用者 35名	仕事始の式を行い、昼食はおべんとう処鹿島のお弁当を提供した。その後、1年の抱負を1人ずつ発表してもらった。
1月9日	成人の祝い	当施設	利用者 30名	20歳になった利用者へ成人の祝いを行い、施設から自分で起きることを意味として「時計」をプレゼントした。

2月2日	節分	当施設	利用者 30名	感染症対策を行い、玉入れゲームとお菓子拾いゲームを行い、一年の邪気払いと無病息災を祈った。
3月10日	春の遠足	浜松まつり会館 石人の星公園	利用者 31名	感染症対策を行い、4グループに分かれ、浜松まつり会館と石人の星公園を散策した。帰りには、ニコエでお土産を購入した。

### 3. 作業活動

協力企業から受託した作業を就労移行支援、就労継続支援B型の作業班で分担、生産した。

各班とも取引業者との信頼関係の強化に努め、治工具の改良考案、作業方法の改善、作業室の整備等によって生産性の向上も図りつつ支給工賃の確保増額に努めた。

就労移行支援班では、能力の伸長を図るとともに製品の品質や生産力の向上が、就労に必要であることを理解させ、品質管理・納期の厳守の徹底を図った。火・金は作業時間を30分延長し、一般就労への自覚を促した。また、実習等にも積極的に参加した。

就労継続支援B型班は福祉的就労の場として、5Sに取り組み工賃のアップを目指した。

#### (1) 作業分担と作業種目

品質を確保するために、担当する職員・利用者の異動を少なくして、作業班体制を組んだ。

##### ア 就労移行支援

生産高(単位：円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
7	1	農機具コンバインセンサースイッチ組立	129,540

##### イ 就労継続支援B

生産高(単位：円)

班	利用者数	作業種目	(月平均)
1.2	12	農機具用小型照光スイッチ組立 矢崎3軸アッシー	609,451
3	5	農機具シーソースイッチ組立	260,752
4	5	農機具用大型照光・操作スイッチ組立 自動車・建設用機械等のターミナル差し込み 建設用スイッチの端子差し込み等	240,717
5	6	農機具コンバインセンサースイッチ組立	335,502
6	5	農機具スタータースイッチ組立、新興細巾織物 添付書類アッシー	95,013
		物品販売等	37,773

#### (2) 生産活動業者別収入状況

##### ア 就労移行

(単位：円)

月	日本ロック	物品販売等	合計
4	144,132		144,132
5	145,835		145,835
6	145,641		145,641
7	185,700		185,700
8	169,731		169,731
9	121,336		121,336
10	168,782		168,782

11	162,151		162,151
12	92,247		92,247
1	106,412		106,412
2	54,101		54,101
3	58,413		58,413
合計	1,554,481		1,554,481

イ 就労継続支援B

(単位：円)

月	日本ロック	矢崎エナジー	新興細巾織物	物品販売等	合計
4	1,503,158	117,969		12,500	1,633,627
5	1,287,021	100,522		15,000	1,402,543
6	1,630,988	141,989	18,150	107,410	1,898,537
7	1,563,616	133,502	4,211	52,500	1,753,829
8	1,520,826	92,171		103,490	1,716,487
9	1,320,536	121,232			1,441,768
10	1,619,825	90,751		31,220	1,741,796
11	1,582,796	100,186		42,710	1,725,692
12	1,236,910	98,267		68,440	1,403,617
1	1,272,242	78,960			1,351,202
2	1,396,859	108,390		7,500	1,512,749
3	1,352,108	111,656	1,760	12,500	1,478,024
合計	17,286,885	1,295,595	24,121	453,270	19,059,871

(3) 月別作業収入と工賃支給状況

ア 就労移行支援

(単位：円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	延べ 作業時間	延べ 実習時間
				最高	最低	配分基準値			
就 労 支 援 収 入 分	4	144,132	24,750	24,750		25,000	21	104.0	
	5	145,835	25,000	25,000		25,000	20	90.5	
	6	145,641	25,000	25,000		25,000	22	110.5	
	7	185,700	24,900	24,900		25,000	22	90.0	15.0
	8	169,731	24,670	24,670		25,000	20	58.0	48.0
	9	121,336	23,990	23,990		25,000	22	101.0	
	10	168,782	25,000	25,000		25,000	21	104.0	25.0
	11	162,151	0	0		0	22		132.0
	12	92,247	0	0		0	20		114.0
	1	106,412	0	0		0	20		108.0
	2	54,101							
	3	58,413							
	小計	1,554,481	173,310	173,310	173,310		175,000	210	658.0
	8		10,000	10,000		10,000			
	12		10,000	10,000		10,000			
	3								

小計		20,000	20,000		20,000		
合計		193,310	193,310		195,000	210	

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は193,310円、月額割では平均27,616円であった。  
11月～1月まではトライアル雇用先企業から支給のため工賃としての支給無し。

イ 就労継続支援B

(単位:円、日、時間)

項目	月	収入総額	工賃支給額	一人当たりの工賃			出席 日数	延べ 作業時間
				最高	最低	平均		
就 労 支 援 収 入 分	4	1,633,627	900,000	34,460	12,010	25,000	21	3483.0
	5	1,402,543	900,000	34,180	12,640	25,000	20	3009.5
	6	1,898,537	900,000	34,590	9,760	25,000	22	3442.5
	7	1,753,829	972,010	38,690	8,550	27,000	22	3200.5
	8	1,716,487	945,000	39,240	7,680	27,000	20	2962.0
	9	1,441,768	918,000	36,790	10,280	27,000	22	3191.0
	10	1,741,796	1,020,000	40,950	10,370	30,000	21	3130.0
	11	1,725,692	1,020,000	44,230	11,970	30,910	22	3331.5
	12	1,403,617	1,020,000	45,960	10,050	30,910	20	2526.0
	1	1,351,202	1,056,000	48,700	9,060	32,000	20	2720.5
	2	1,512,749	990,000	43,900	7,750	30,000	20	2782.5
	3	1,478,024	1,089,000	47,740	14,680	33,000	23	3356.5
	小計	19,059,871	11,730,010	489,430	124,800	342,820	253	37135.5
	8		賞与 360,000	15,800	2,700	10,000		
	12		賞与 330,000	14,500	1,400	10,000		
	3		一時金 330,000	16,400	1,100	10,000		
	小計		1,020,000	46,700	5,200	30,000		
合計	19,059,871	12,750,010	536,130	130,000	372,820	253		

(注) 賞与込みの年間の1人当たり平均工賃額は372,820円、月額割では平均30,947円であった。

(4) 就労支援会計収支状況

(単位:円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
1. 利用者工賃等配分額	12,943,320	1. 就労支援事業収入	20,614,352
(1) 利用者工賃	11,903,320	(1) 受託収入	20,161,082
(2) 利用者賞与	1,040,000	(2) 物品販売等	453,270
2. 必要経費	7,759,937	(3) その他の事業収入	
3. 積立金積立		2. 業務改善助成金	90,720
(1) 工賃変動積立預金	0		
(2) 設備等整備積立金	0		
4. 次年度繰越金	1,815		
合 計	20,705,072	合 計	20,705,072



(5) 配分率、経費率及び繰越率

(単位：円、%)

総収入	利用者工賃等配分額	必要経費	次年度繰越金	配分率	経費率
20,705,072	12,943,320	7,759,937	1,815	62.5%	37.5%

4. 体育実施状況

利用者の健康な生活を維持し、体力の維持・強化のために朝礼後の体操や、作業中のストレッチ、定時のジョギング及び体育的行事（野外スポーツ）を計画的に実施した。

(1) 体力作りとストレッチ

項 目	日 時	内 容
ラジオ体操	8:40～8:45 (毎朝)	ラジオ体操第一を始業前の準備運動を兼ねて全員で行った。
ストレッチ	10:25～10:30 (毎日)	それぞれの作業の持ち場で業間体操として手・足・首・腰・胴を中心に20秒間同じ姿勢を保つストレッチを実施した。
体 操	15:15～15:45 B型 (月・水～金) 就労移行 (月・水)	ジョギングや歩行訓練を中心としたグループと機能訓練を行うグループに分かれ、それぞれの心身の状況に合わせた体力づくりを実施した。また、雨天時は地域交流スペースでストレッチやダンス（踊り）等を行った。

(2) 体育的行事

項 目	日 時	内 容
野外スポーツ	13:00～15:30 (年5回)	バス等で森林公園まで移動し3班に分けウォーキングや散策を実施した。(4,6,7,9,11,2月) *天候不良の為に実施しなかった月(1月)を除く。

5. 保健衛生指導

(1) 健康管理

毎月、身長・体重・血圧・体脂肪の測定を実施して日常の健康管理の目安とし、昼食後の歯磨き、作業後のうがい・手洗いを毎日の習慣とした。

定期健康診断は春に血液・尿検査、秋にX線を実施し、嘱託医による内科検診を年3回実施した。保護者には健診結果を通知し、結果に異常のあった利用者については、保護者に掛かりつけの医師による再診を助言した。

10月には歯科健診を行い、虫歯や歯周病のある人には通院治療を助言した。

ア、健診実施状況

区 分	実施日	人数	内 容
血液検査	4月8日	33人	貧血、肝機能、血中脂質、血糖、尿酸
尿検査	4月8日	35人	蛋白、糖、潜血
X線検査	9月5日	30人	胸部X線間接撮影
嘱託医による 内科検診	4月20日	35人	問診、聴打診、血圧
	8月24日	30人	
	12月14日	35人	

イ、健康診断結果

(単位：人) ※重複あり

区 分	男	女	計
血球計数	0	1	1
糖代謝	1	0	1

肝機能検査	3	1	4
脂質代謝	1	1	2
腎機能	0	0	0
尿定性検査	2	0	2
計	7	3	10

(2) 衛生指導

利用者、職員全員で毎日終業前の 15 分間で施設内全般の清掃を実施し、清潔な環境保持に努めた。また、作業後やトイレ使用後及び給食前に手洗いを励行し、毎日の習慣とするよう心掛けた。

(3) 感染症予防

新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスの感染予防対策として、登所時・昼食前・トイレ後などに手・指のアルコール消毒を行った。また、1 年を通して検温（自宅、施設）を実施し、マスクの着用を徹底した。

施設内での感染症対策として、食堂のパーティション、更衣室の分散化、ドアノブ・手すりの消毒などを実施した。

(4) 出欠状況

出欠状況は利用者の心身の状況のバロメーターであり、データを取りながら家庭と協力して出席率を高めるよう努めた。

ア 月別出欠状況

【就労移行支援】

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	1	21	21	0	21	100.00
5	1	20	20	0	20	100.00
6	1	22	22	0	22	100.00
7	1	22	22	0	22	100.00
8	1	20	20	0	20	100.00
9	1	22	22	1	21	95.45
10	2	21	26	0	26	100.00
11	1	22	22	0	22	100.00
12	1	20	20	0	20	100.00
1	1	20	20	0	20	100.00
2	0	0	0	0	0	0.00
3	0	0	0	0	0	0.00
計	11	210	215	1	214	99.53

(注)10月は、特別支援学校から就労アセスメントの利用者1人。(利用期間5日間)

【就労継続支援B型】

月	在籍者数	開所日数	出席すべき延日数	欠席延日数	出席延日数	出席率(%)
4	36	21	756	22	734	97.09
5	36	20	720	18	702	97.50
6	36	22	792	34	758	95.71
7	36	22	792	55	737	93.06
8	35	20	700	73	627	89.57
9	34	22	748	47	701	93.72
10	34	21	714	40	674	94.40

11	33	22	726	66	660	90.91
12	33	20	660	67	593	89.85
1	33	20	660	63	597	90.45
2	33	20	660	55	605	91.67
3	33	23	759	49	710	93.54
計	412	253	8,687	589	8,098	93.22

イ 月別皆勤者の状況

年間を通じての皆勤者（無欠席・無遅刻・無早退）は男子1名、女子は1名の計2名。  
 精勤者（欠席、遅刻、早退合わせて3回以内）は男子4名、女子2名の計6名であった。

【就労移行支援】 (単位：%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	1	1	100.00	10	2	2	100.00
5	1	1	100.00	11	1	1	100.00
6	1	1	100.00	12	1	1	100.00
7	1	1	100.00	1	1	1	100.00
8	1	1	100.00	2	0	0	0.00
9	1	0	0.00	3	0	0	0.00
※10月は就労アセスメントで1名増(5日間)				計	11	10	90.90

【就労継続支援B】 (単位：%)

月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)	月	在籍者数	皆勤者数	皆勤率(%)
4	36	27	75.00	10	34	17	50.00
5	36	26	72.22	11	33	18	54.55
6	36	26	72.22	12	33	23	69.70
7	35	26	74.29	1	33	19	57.58
8	35	24	68.57	2	33	21	63.64
9	34	21	61.76	3	33	22	66.67
				計	411	270	65.69

6. 交通安全指導

外部講師として、おうちコープ、浜北署の交通安全指導員等に協力をいただき交通安全に関する講話や正しい横断歩道の渡り方の指導を受けた。また、指導員などによる実地指導も行い、より実際に即した交通安全指導を目指した。

実施日	指導者	内 容
8月10日	おうちコープ職員	夏季休暇前におうちコープによる交通安全教室を開催。①車の周りの危ない所②チャイルドシートについて③横断歩道の正しい渡り方④交通安全についての○×クイズの4点について指導を受けた。 クイズや実技指導もあり、利用者さんが理解しやすく積極的に取り組める内容だった。
12月27日	交通安全指導員	年末年始の休暇を迎えるにあたり、交通安全協会浜北地区支部の交通安全指導員より、危険な場所についての動画や写真を使って事故防止についての説明を受けた。また、自転車の交通ルールも教えて頂いた点は良かった。

## 7. 災害防止対策

火災と地震を交互に想定し、防災訓練を毎月実施した。通報訓練、帰宅訓練、地域防災訓練への家族ぐるみの参加の呼びかけ等も行い、防災指導に努めた。また、常に防災設備の自主点検を実施し、防災組織、緊急連絡網の確認を行い、連絡網を使った連絡訓練も実施した。月別の防災訓練の実施状況は次表のとおりである。

【防災訓練実施状況】

	訓練 種目	災害発生時の想定及び対応					留意点
		参加人数	時刻	火点	状況	避難経路・手順等	
4月21日	火災 通報	利用者 職員 13 その他	17:10			利用者帰宅後、第1作業室より出火したことを想定し、「火災発生」の発声及び施設長への報告通報訓練を実施した。一斉放送による避難誘導の指示の確認と消火班の行動確認等を実施した。また、消火設備の確認を行った。	
5月17日	地震 避難	利用者 35 職員 13 その他 4	9:20		作業時間中に地震発生	身近な机や作業台の下に身を隠した。ヘルメットを着用し避難した。	効果音で地震と理解させる。机の下に隠れ、電源・窓・ヘルメットの確認を行う。
6月22日	火災 避難	利用者 35 職員 12 その他 4	10:25	作業室3	作業中、半田ごとが倒れてアルコールに引火	火点(第3作業室)を避け、施設中央口から外へ避難した。	火災に気づいた際、大きな声で周りに知らせる。職員の指示が的確に出されているか、避難経路が確保されているかを確認する。
7月20日	大雨 避難 帰宅 訓練	利用者 33 職員 10 その他 0 保護者 27	15:00		作業中に大雨に対する警報が発令	浜松市から警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたことを想定し、保護者の情報伝達訓練を行った。	事前に配布した資料を保護者が把握しているのか、最後まで正しく情報伝達出来るのかを確認する。
8月25日	火災 通報 避難	利用者 31 職員 11 その他 3	14:10	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火	火点(食堂)を避け施設東側・中央より避難するよう指導した。	避難時の利用者行動を把握し、声掛けを行う。(避難経路・残留者確認)
9月2日	総合 防災 訓練	利用者 33 職員 12 その他 5	9:05		予知情報のない突発的な大規模地震発生	非常災害時避難誘導要領の手順に従って避難訓練を実施。感染対策の為、引き渡し訓練は中止。	避難訓練の内容以外に、消火器の点検や防災用品の点検など施設内の不備が無いか点検を行う。
10月26日	地震 避難	利用者 職員 その他	14:15		作業時間中に地震発生		体調不良者が数名出たため、中止。
11月1日	地震 火災 通報 消火	利用者 24 職員 10 その他 5	10:00	食堂	作業時間中に地震が発生し、食堂より出火	安全な場所に身を伏し地震の収まるのを待ち落下物に注意し、火元の食堂を避けて非常口から避難を行った。	社会福祉施設防災訓練として実施。避難経路の確立。連絡網の確認と召集時間の確認。備蓄品、排煙口の確認。
12月20日	火災 通報 避難	利用者 30 職員 10 その他 5	10:50	食堂	食堂のコンセントに埃がたまり出火	火点(食堂)を避け施設東側・中央より避難するよう指導した。	避難経路の的確な指示を行う。火点を避け、姿勢を低くし煙を吸わないよう避難することを確認した。
1月20日	地震 避難	利用者 29 職員 10 その他 5	10:40		休憩中に地震発生		職員が居ない状態でどのように避難するのか見守り、職員が的確な指示を行った。
2月24日	地震 避難	利用者 27 職員 11 その他 5	10:20		休憩前に地震発生		自分で身を守ることが出来るか確認をする。避難指示は職員が的確に行う。
3月23日	火災 避難	利用者 32 職員 11 その他 5	10:20	作業室3	野火による延焼で建物南側に接近	中央廊下を通過して玄関前に避難し、たちばな授産所へ移動した。	職員・利用者の行動の再確認。大声での周知、避難経路の確認を行う。

## 8. 家庭との連携

家庭との連携を密にするため、次の内容で保護者と相互に連絡(連絡帳・電話)を取り合って利用者の支援にあたるよう努めた。

項目	期間	内容
個別面談	随時	状況に応じ随時個別に面談し、相談にのるよう努めた。また、必要に応じて、相談支援事業所と一緒に面談を行った。
モニタリング	就労継続B 9,3月	個別に時間設定をし、保護者同席により個別支援計画に基づいた目標を評価し、必要に応じて見直し又は、変更を実施し、施設での作業や生活の様子、また家庭生活等の情報交換も行った。 *新型コロナウイルス感染症の影響により、電話連絡や時期を遅らせるなどの配慮を行った。
連絡帳	随時	必要に応じて連絡帳により、家庭との連絡を密にするよう努めた。(自宅や施設での様子など)
サンステップ通信等	毎月1回 他随時	「サンステップ通信」を発行し、月の予定等を伝えた。また、行事や会合等の事務連絡を随時行った。
保護者会	隔月	4月に定例総会(書面決議)を行い、5、11、1、3月の隔月に定例役員会、4月に臨時の役員会を実施した。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、施設行事への協力や研修会などは中止した。

## 9. 地域交流

### (1) ボランティアの受け入れ

#### ア 絵手紙教室(地域交流スペース)

月	回数	延べ人数	参加者(講師)	内容
6	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	野菜をかく
7	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	暑中見舞いをかく
8	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	花火をかく
10	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	秋の野菜や果物をかく
12	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	クリスマスをかく
2	1	2名	「絵手紙のまち浜松」を育てる会	冬の野菜をかく
計	6	12名		

\*10月は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。(※講師は、有償ボランティア)

### (2) 実習生徒の受け入れ

実施期間	学校名	参加者	人数
6月20日～6月24日の5日間	県立浜松特別支援学校	高等部2年	1名
10月3日～10月7日の5日間	県立浜松特別支援学校	高等部3年	1名

### (3) 就労アセスメントの受入

実施期間	学校名	実施者	人数
10月17日～10月21日の3日間	県立みをつくし特別支援学校	高等部2年	1名

### (4) 体験実習

#### ア 体験実習

実施期間	所属	実施者	人数
5月16日～17日の2日間	相談シグナル	19歳男性	1名
2月9日の1日間	浜北特別支援学校	高等部1年	1名

イ 夏休み体験実習

実施期間	学校名	実施者	人数
7月26日の1日間	浜松特別支援学校	高等部3年	1名
8月4日の1日間	浜北特別支援学校	中学部3年	1名

(5) 作業実習の受け入れ

担任教諭の引率によって、下記の発達支援学級等の生徒の作業実習を受け入れた。

ア 浜松市立浜北北浜中学校発達支援学級生徒

月	回数	延べ人数	内容
7	4	10名	電装部品の組立
9	1	2名	〃
計	5	12名	

(6) 体験学習等の受け入れ

実施期間	学校名	人数	内容
11月24日～25日の2日間	浜松市八幡中学校	4名	作業補助

(7) 単位実習、職員研修等の受け入れ

ア 社会福祉援助技術現場実習

実施期間	学校名	人数
7月4日～7月19日の12日間	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1名
7月21日～8月8日の12日間	浜松学院大学短期大学部幼児教育科	2年生1名

イ 職員・保護者の施設体験研修

実施期間	学校名	人数
8月9日	県立浜北特別支援学校 教員	18名
8月24日～25日	みをつくし特別支援学校 教員	1名

(8) 地域奉仕活動

12月の障害者週間にちなみ、近隣の環境整備に協力して奉仕作業を実施した。

実施日	事業名	参加者	内容
12月9日	地域奉仕活動	利用者 29名 職員 9名	金原用水沿いの草刈り及び施設周辺の除草作業。また、頻繁に利用している遠鉄芝本駅までの道のりのゴミ拾い等を行った。

10. 各種会議

施設内会議を下記のとおり実施した。

会議	実施(曜)日	会議	実施(曜)日
職員打ち合わせ	毎朝	支援部会議	第四以外の木曜日
職員会議	第四木曜日	ケース会議	第四木曜日以外

## 11. 職員研修

以下の研修に参加した。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月18日	第1回 就労移行 WEBセミナー	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1
5月23日	第2回 就労移行 WEBセミナー	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1
5月11日	児童・障害部会施設長会	浜松市	浜松市施設協	施設長1
5月27日	コンプライアンス講座	当施設	県人材センター	サビ菅1
5月30日	第1回就労支援チーム会議	当施設	ハローワーク	支援員1
6月15日	虐待防止研修	浜松市	県セルフ協	支援員1
6月20日	第3回 就労移行 WEBセミナー	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1
6月22日	浜北区啓発活動 第1回会議	当施設	浜北区自立連絡会	支援員1
6月29日	県セルフ協 第1回総会	静岡市	県セルフ協	施設長1
7月25日	第4回 就労移行 WEBセミナー	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1
7月27日	浜北区啓発活動 第2回会議	当施設	浜北区自立連絡会	支援員1
8月8日	第2回就労支援チーム会議	当施設	ハローワーク	支援員1
8月22日	第2回就労支援意見交換会	当施設	くらしえん・しごとえん	支援員1
8月29日	第5回 就労移行 WEBセミナー	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1
9月6日	西部施設連絡会 施設長会	当施設	西部施設連絡会	施設長1
9月12日	行政との連絡会	浜松市	浜松市施設協	施設長1
9月27日	浜北区啓発活動 第3回会議	当施設	浜北区自立連絡会	支援員1
10月17日	障がい者施設歯科検診 事業所説明会	浜松市	浜松市	支援員1
10月26日	浜北区啓発活動 第4回会議	当施設	浜北区自立連絡会	支援員1
11月8日	コミュニケーション講座	当施設	県人材センター	支援員1
11月11日	「SELPって何？」	当施設	県セルフ協	施設長1
11月25日	令和4年度浜北・天竜エリア連絡会 研修会	当施設	浜北・天竜相談センター	支援員1
11月30日	社会福祉施設等防災研修会	当施設	静岡県	サビ菅1
12月21日	感染症予防研修	当施設	県セルフ協	サビ菅1
2月3日	西施連 1月度職員研修	浜松市	サンステップ	施設長1 支援員2
2月13日	関東セルフ協 第2回研修会	当施設	関東セルフ協	支援員2
3月1日	高齢者・障害者虐待防止研修	当施設	浜松市	施設長1 サビ菅1
3月13日	西部施設連絡会 施設長会	浜松市	西部施設連絡会	施設長1
3月13日	西部施設連絡会 職員研修	浜松市	西部施設連絡会	サビ菅1
3月15日	県セルフ協 第2回総会	静岡市	県セルフ協	施設長1
3月16日	社会福祉施設・事業所のBCP	当施設	県社協	施設長1
3月20日	第3回就労支援チーム会議	当施設	ハローワーク	支援員1
3月20日	第2回だんだん連作調整会議	当施設	なかぼつ(だんだん)	支援員1

12. 利用者の状況

(1) 入退所状況 (R4/4.1~R5/3.31)

(在籍人数は 1 日現在)

区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	男	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
現員	男	25	25	25	25	24	24	24	23	23	23	23	23
	女	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	10	10
在籍	計	37	37	37	37	36	35	35	34	34	34	33	33

(2) 利用者の年齢

令和5年3月31日現在

年 令	男 子	女 子	計
15~19歳	0	0	0
20~29歳	8	2	10
30~39歳	6	2	8
40~49歳	2	4	6
50歳以上	7	2	9
計	23	10	33

平均年齢 男子 37.8 歳 女子 43.5 歳 全体 39.5 歳

(3) 入所期間

令和5年3月31日現在

期 間	男	女	計
1年未満	0	0	0
1年以上~3年未満	1	0	1
3年以上~5年未満	2	1	3
5年以上~7年未満	3	0	3
7年以上~9年未満	1	0	1
9年以上~11年未満	16	9	25
11年以上~13年未満	0	0	0
13年以上~15年未満	0	0	0
15年以上~17年未満	0	0	0
17年以上~19年未満	0	0	0
19年以上~	0	0	0
計	23	10	33

平均入所期間 男子 8.83 年 女子 8.54 年 全体 9.33 年

(4) 入所直前の状況

区 分	男	女	計
特別支援学校等	17	5	22
作業学級、作業所等	1	0	1
児童、成人施設	2	3	5



就労、家業の手伝い、在宅	3	2	5
計	23	10	33

(註)就職経験者は、男子2人 女子1人 計3人である。

(5)通所方法

区 分	通所バス	電 車	自転車	バ ス	徒 歩	自家用車	施設送迎	計
男	3	13	1	2	3	6	3	31
女	2	3	0	2	4	4	0	15
計	5	16	1	4	7	10	3	46

(註)重複利用者を含む

(6)手帳の所持

ア 療育手帳

区 分	A	B	なし	計
男 子	14	8	1	23
女 子	6	4	0	10
計	20	12	1	33

イ 身体障害者手帳

区 分	1級	2級	3級	4級	6級	計
男 子	0	2	0	2	0	4
女 子	0	0	1	1	0	2
計	0	2	1	3	0	6

ウ 精神保健福祉手帳

区 分	1級	2級	3級	計
男 子	0	0	1	1
女 子	0	0	0	0
計	0	0	1	1

エ 障害福祉サービス受給者証

区 分	未判定	2	3	4	5	6	計
男 子	14	0	4	4	1	0	23
女 子	3	1	4	2	0	0	10
計	17	1	8	6	1	0	33

(7) 心身障害の併有状況

区 分	男 子	女 子	計
四肢体幹機能に問題のある人	4	1	5
てんかん治療を受けている人	4	2	6
現在精神神経科に通院し投薬を受けている人	4	3	7
情緒不安定・その他特異な行動のある人	2	1	3
言語に問題のある人	10	0	10

視力に問題のある人	7	2	9
聴力に問題のある人	1	1	2
ダウン症	4	2	6
内部（心臓、呼吸器）障害のある人	2	2	4
計	38	13	51

(註)重複障害を含む

### 13. 就労移行支援実施状況

#### (1) 就職実績

採用日	就職先	採用人数
令和5年2月1日	トクラスプロダクツ株式会社	1名

#### (2) 就職者の事前支援状況

期間	事前支援内容	企業名
令和4年4月22日	企業見学	浜松倉庫株式会社
令和4年5月23日	企業見学	花の舞酒造株式会社
令和4年5月26日	企業見学	株式会社コベス
令和4年7月7日	企業見学	トクラスプロダクツ株式会社
令和4年7月12日	企業見学	株式会社サカエ
令和4年7月15日	企業見学	浜松白洋舎 浜北工場
令和4年7月26日～28日	企業実習	株式会社サカエ
令和4年8月1日～10日	企業実習	トクラスプロダクツ株式会社
令和4年11月1日 ～令和5年1月31日	トライアル雇用	トクラスプロダクツ株式会社

#### IV. 指定障害福祉サービス事業所すだち事業報告

##### 1. 共同生活住居「いぶき」

###### (1) 概況

利用者5名は、新型コロナウイルスが新型株による流行の広がりもあって未だ終息したとは言えない中で、感染予防のために活動が制限された不自由な生活にストレスを感じながらも、加齢による体力の衰えからくる生活能力の減退、親の健康問題からくる生活環境の変化等それぞれの課題に向き合ってグループホームでの生活を送っている。

世話人については、地域に新しいグループホームが増加し、夜→早朝の変則勤務という不利な条件もあって退職した職員の後任を確保することが厳しくなっている。

###### (2) 主な行事

地域の夏祭りなどは新型コロナの感染予防のため中止になった。

- ・防災訓練（8月30日）：火災を想定した避難訓練。消火器の使い方も実施。
- ・施設防災訓練（11月4日）：地震発生後、台所より出火。通報訓練。
- ・誕生会（各利用者の誕生日）：

###### (3) 利用者の状況

###### (1) 入退所状況（R4/4.1～R5/3.31）

（在籍は1日現在）

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

###### (2) 利用者の年齢

（令和5年3月31日現在）

～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳～
0	1	0	1	1	1	1

###### (3) 利用期間

（令和5年3月31日現在）

1年未満	1～2年	3～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～
0	0	1	1	1	2	0

###### (4) 利用直前の状況

区分	自宅（学校）	自宅（通所）	自宅（就労）	自宅（家業）	支援施設
人数	1	3	0	0	1

###### (5) 手帳の所持

区分	療育	身体	精神保健
人数	5	1	0

※重複あり

###### (6) 障害福祉サービス受給者証

区分	未判定	1	2	3	4	5	6
人数	2	0	0	2	1	0	0

###### (7) 利用者が抱える課題

※重複あり

区分	身体（歩行・排泄）	健康（生活習慣病）	情緒面（特異行動）	余暇・休日	将来
人数	1	4	1	4	4

## 2. 共同生活住居「すだち」

### (1) 概況

利用者の異動はなく、現在3名が利用している。今年の1月に新型コロナウイルスに1名が感染したので、集団感染を防ぐために感染者以外の利用者を家に帰したが、1家族に2次感染が生じ迷惑をかけた。これ以外には休むことなく会社や施設を通っているが、普段よりストレスを感じていたものと思われる。

世話人は1名が高齢を理由に、もう1名が契約満了で退職した。

すだちの建替えは、7月に工事に着工し、物価高騰による建築資材の不足もあり工事の遅れが心配されたが、来年度からの利用開始に向けて工事は順調に進んでいる。

### (2) 主な実施行事

- ・防災訓練（8月29日）：火災を想定した避難訓練。消火器の使い方も実施。
- ・施設防災訓練（11月5日）：社会福祉施設防災訓練の一環。
- ・クリスマス会（12月24日）：クリスマスケーキを食べながら談笑した。

### (3) 利用者の状況

#### (1) 入退所状況 (R4/4.1～R5/3.31)

(在籍は1日現在)

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

#### (2) 利用者の年齢

(令和5年3月31日現在)

～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳～
0	1	0	2	0	0	0

#### (3) 利用期間

(令和5年3月31日現在)

1年未満	1～2年	3～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年～
0	0	0	2	0	1	0

#### (4) 利用直前の状況

区分	自宅(学校)	自宅(通所)	自宅(就労)	自宅(家業)	支援施設
人数	0	3	0	0	0

#### (5) 手帳の所持

区分	療育	身体	精神保健
人数	3	0	0

#### (6) 障害福祉サービス受給者証

区分	未判定	1	2	3	4	5	6
人数	0	0	1	2	0	0	0

#### (7) 利用者が抱える課題

※重複あり

区分	身体(歩行・排泄)	健康(生活習慣病)	情緒面(特異行動)	余暇・休日	将来
人数	0	1	2	1	3

V. 社会福祉法人たちばな会 事業報告の附属明細書

「記載事項」

該当事項はありません。